

女性の目線で防災を考える 消防団女性部を組織

**自分たちの地域を自分たちで
守るため消防団女性部を組織**

10月23日(日)に行われた下野市消防団消防操法競技会の開会式において、女性消防団員が紹介されました。東日本大震災を機に防災意識が高まる中、「自分たちのまちは自分で守る」という消防団の目的や、男女共同参画の観点から女性の目線での防災啓発が重要である、という考えから消防団女性部を組織しました。現在、女性消防団員が6名入団されており、今後の活躍が期待されます。

●問い合わせ先

生活安全課 ☎(40)55555



女性消防団員からひとこと

佐藤 由美さん

普段は何をされていますか？

仕事と家事です。子供を学校に見送って、昼間は仕事をしています。

なぜ女性消防団に入ろうと思ったのですか？

震災後の救急隊や消防隊が活躍する姿を見て、息子たちが大きくなったときに良い手本となるようにになりたいと思い入団を希望しました。

どのような活動を行いたいですか？

以前AED講習会を受けたとき、技術を習得することの必要性を強く感じました。AEDが普及した現在、しっかりと扱える人が多くなるように広めていきたいです。

また、幼稚園などでも防火防災の活動をしていけたらいいと思っています。



下野市女性防火クラブが活躍

10月12日(水)、上三川町日産グラウンドにおいて実施された第35回消防競技大会において、下野市女性防火クラブから出場した2チームが見事入賞しました。おめでとうございます。

この大会は、防火意識の高揚と初期消火技術の向上を目指して、石橋地区消防組合管内の1市2町(下野市、壬生町、上三川町)の事業所・女性防火クラブから出場するチームが競い合って行われます。大会には100名を超える来場者があり、下野市女性防火クラブからも6チームが出場。技術の正確さと迅速さで、国分寺Bチームが準優勝し南河内Bチームが3位に入賞しました。



女性防火クラブのみなさん

競技大会結果

- 準優勝 国分寺Bチーム
- 指揮者…倉井由美子さん
- 消火者…花田美枝さん
- 第3位 南河内Bチーム
- 指揮者…広瀬守子さん
- 消火者…田上ひろ子さん